

新元号

「令和」を批判する 日本共産党に

NO

日本共産党に協力するのはやめましょう。

その理由は…

裏面をご覧下さい。

JAPAN
Guardians

日本共産党に協力してはいけない理由

理由

1

「天皇制の廃止」を目指しているから

共産党は「令和」を批判しているだけではありません。志位和夫委員長は2012年1月、党本部で開かれた集会で講師を務め、「日本の将来の発展の方向性としては、天皇制度のない、民主共和制を目標とする」と述べています。共産党の本音はズバリ、「天皇制の廃止」なのです。



理由

2

「自衛隊の解消」を目指しているから

2016年6月、共産党の藤野保史政策委員長（当時）がテレビの討論番組において、防衛費を「人を殺すための予算」と発言し、大きな問題となりました。この発言からもわかるように、共産党は自衛隊を「敵」だと考え、「自衛隊の解消」を目指しています。

理由

3

公安調査庁などからマークされる団体だから

公安調査庁は共産党に対して「破壊活動防止法」に基づく「調査対象団体」であると公式見解を発表しています。共産党は必死に否定していますが、1950年代、当時の共産党が武装闘争を掲げ、騒乱事件や警察襲撃事件を起こしたことは紛れもない歴史的事実です。

警察庁も「暴力革命の方針を堅持する」と断定し、その動向をマークしています。

このような日本共産党に協力するのはやめましょう。

**野党を支持する皆様も
共産党との“共闘”を本気で支持しますか？**



日本共産党の本質や本音については、私たちのサイトやツイッターをご確認ください。

